テクニカルミーティングの内容

①地図の扱いについて（プログラム参照）

地図は見えないように2つ折りし、薄いポリ袋に封入してあります。出走前にポリ袋を開封すると失格となりますので扱いには注意下さい。１走はスタート整列時、２，３走はスタート待機枠進入時に薄いポリ袋は開封可能となります。チーム代表者はチーム内で地図の扱いを徹底してください。また万一紛失の場合は失格となります。

1走が白、2走がブルー、3走がピンク

②コース距離（赤字がプログラムから変更された箇所です）

クラス	距離	登高	優勝設定時間	競技時間
ME	5.8km	320m	135 分	270 分
WE	4.1km	180m	120 分	240 分
MS	4.7km	260m	135 分	270 分
WS	3.6km	110m	120 分	240 分
MJ	4.1～4.2km	180m	135 分	270 分
WJ	3.7km	125m	120 分	240 分
MV	3.7km	135m	135 分	270 分
WV	3.4km	115m	120 分	240 分
XV	3.4km	115m	120 分	240 分
XJ	3.2km	80m	80 分	240 分
一般男子	4.7km	260m	135 分	240 分
一般女子	3.6km	110m	120 分	240 分
MIX-L	3.4km	115m	90 分	240 分
MIX-S	3.2km	80m	80 分	240 分

②続き

スペクテータズレーンからフィニッシュまでの予想タイム

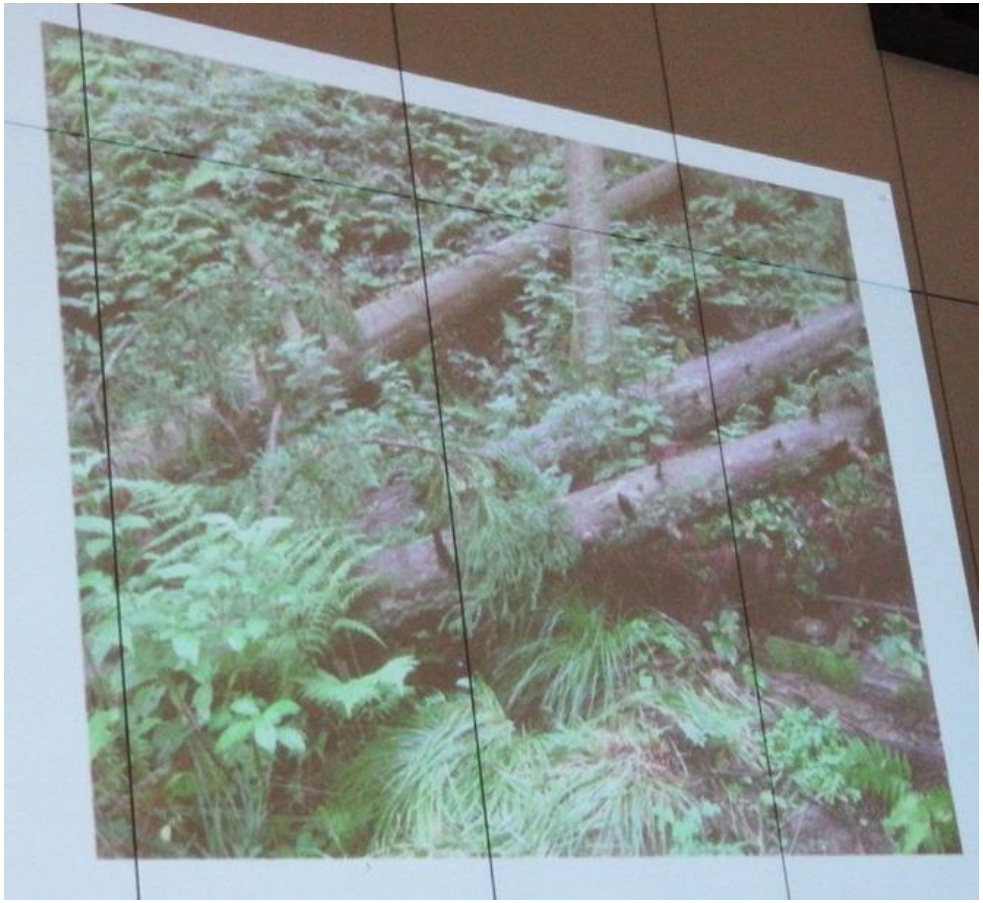
各コースともコース距離約70%のところでスペクテータズレーンを通過します。その後コースにより１０分～１５分程度で会場に現れると　思われます。

↑速い人でコースによって10～15分程度という意味

このほか、MEクラスのみ35%地点(スタートから20分前後)にオンラインコントロールを設ける。
条件が良ければ演出に使う。
但しME1走のオンラインコントロール通過情報については10:50の一般クラス1走スタートと時間帯が重なるため演出を控える可能性がある。

③テレイン内の倒木の状況

去年、今年と大型台風の直撃により山中および山道に倒木が散見されます。（スクリーン参照）
杉の大木もルート上に倒れており、簡単には通過できないところもあります。



④山道の状況

テレイン内の山道はほとんどが道（地図記号５０４　軽車道 小道や、車両がゆっくり通行可能）が占めているが、状況により走行具合が異なるので注意して下さい。（スクリーン参照）

A．一般的な山道。外観もはっきりし走りやすい。

B．ここ１、２年内に作られた伐採用の山道。外観ははっきりしているが地表が柔らかく、走行注意。

C．伐採用に作られたが、その後利用されず草木が目立つ山道。大会用に草刈りを実施し、山道の判別は出来るようにしている。走りにくい。

Aの例

④山道の状況

テレイン内の山道はほとんどが道（地図記号５０４　軽車道 小道や、車両がゆっくり通行可能）が占めているが、状況により走行具合が異なるので注意して下さい。（スクリーン参照）

A．一般的な山道。外観もはっきりし走りやすい。

B．ここ１、２年内に作られた伐採用の山道。外観ははっきりしているが地表が柔らかく、走行注意。

C．伐採用に作られたが、その後利用されず草木が目立つ山道。大会用に草刈りを実施し、山道の判別は出来るようにしている。走りにくい。

Bの例

④山道の状況

テレイン内の山道はほとんどが道（地図記号５０４　軽車道 小道や、車両がゆっくり通行可能）が占めているが、状況により走行具合が異なるので注意して下さい。（スクリーン参照）

A．一般的な山道。外観もはっきりし走りやすい。

B．ここ１、２年内に作られた伐採用の山道。外観ははっきりしているが地表が柔らかく、走行注意。

C．伐採用に作られたが、その後利用されず草木が目立つ山道。大会用に草刈りを実施し、山道の判別は出来るようにしている。走りにくい。

Cの例

草刈り前

草刈り後

④山道の状況

テレイン内の山道はほとんどが道（地図記号５０４　軽車道 小道や、車両がゆっくり通行可能）が占めているが、状況により走行具合が異なるので注意して下さい。（スクリーン参照）

A．一般的な山道。外観もはっきりし走りやすい。

B．ここ１、２年内に作られた伐採用の山道。外観ははっきりしているが地表が柔らかく、走行注意。

C．伐採用に作られたが、その後利用されず草木が目立つ山道。大会用に草刈りを実施し、山道の判別は出来るようにしている。走りにくい。

Cの例

・草刈り後も
　踏み抜き対策で
　20cmほど
　草を残してある
　(走りにくい)
・A,B,Cで地図記号は同じ

草刈り後

⑤永久柵の図式およびコース表示（プログラム参照）

耕作地と森林の境界に獣被害防止の永久柵（ISOM518 通行不能の柵）が設置されており、通行用の扉があるところでしか通過できない。大会中は利用できる扉を制限し、開放状態で固定する。閉鎖の扉は通行禁止とし、通過した場合は失格とする。

地図の判読性をよくするため、永久柵をパープルの線（ISOM708 通行禁止の境界）で誇張し、通過可能な扉の位置を図示（ISOM710 通過点）する。

⑤永久柵の図式およびコース表示（プログラム参照）

耕作地と森林の境界に獣被害防止の永久柵（ISOM518 通行不能の柵）が設置されており、通行用の扉があるところでしか通過できない。大会中は利用できる扉を制限し、開放状態で固定する。閉鎖の扉は通行禁止とし、通過した場合は失格とする。

地図の判読性をよくするため、永久柵をパープルの線（ISOM708 通行禁止の境界）で誇張し、通過可能な扉の位置を図示（ISOM710 通過点）する。

塞がっている
扉の例

⑤永久柵の図式およびコース表示（プログラム参照）

耕作地と森林の境界に獣被害防止の永久柵（ISOM518 通行不能の柵）が設置されており、通行用の扉があるところでしか通過できない。大会中は利用できる扉を制限し、開放状態で固定する。閉鎖の扉は通行禁止とし、通過した場合は失格とする。

地図の判読性をよくするため、永久柵をパープルの線（ISOM708 通行禁止の境界）で誇張し、通過可能な扉の位置を図示（ISOM710 通過点）する。

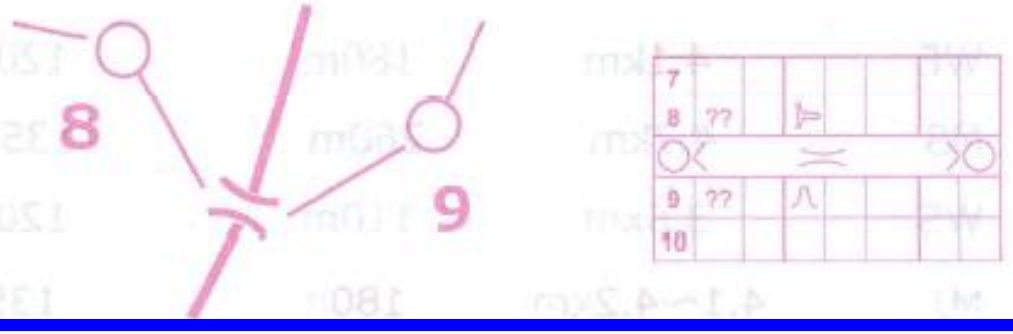
開いている扉の例
※この1/4くらいの大きさの
　場所もある

⑤続き

コース表示について

・正式の表示

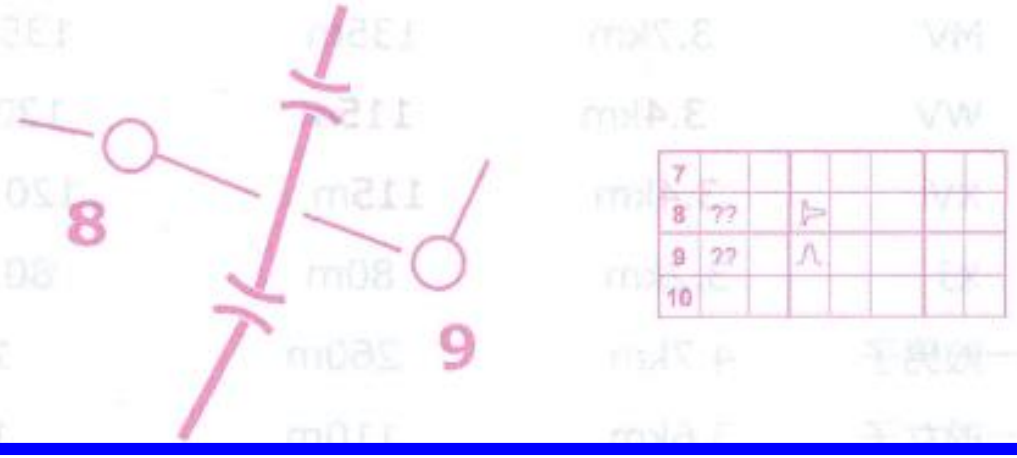
通過ポイントがある場合には、レッグ線を通過点を通るよう図示し、デフ欄には通過ポイントを表記する。



・今大会の表示

利用できる通過ポイントが幾つかあり競技者判断となるので、レッグ線はコントロール同士を直線でつなぐ。

コースにおいて通過する扉が複数あるため、デフ欄の通過ポイント表記は省略。



今回はこちらの表記が使われる

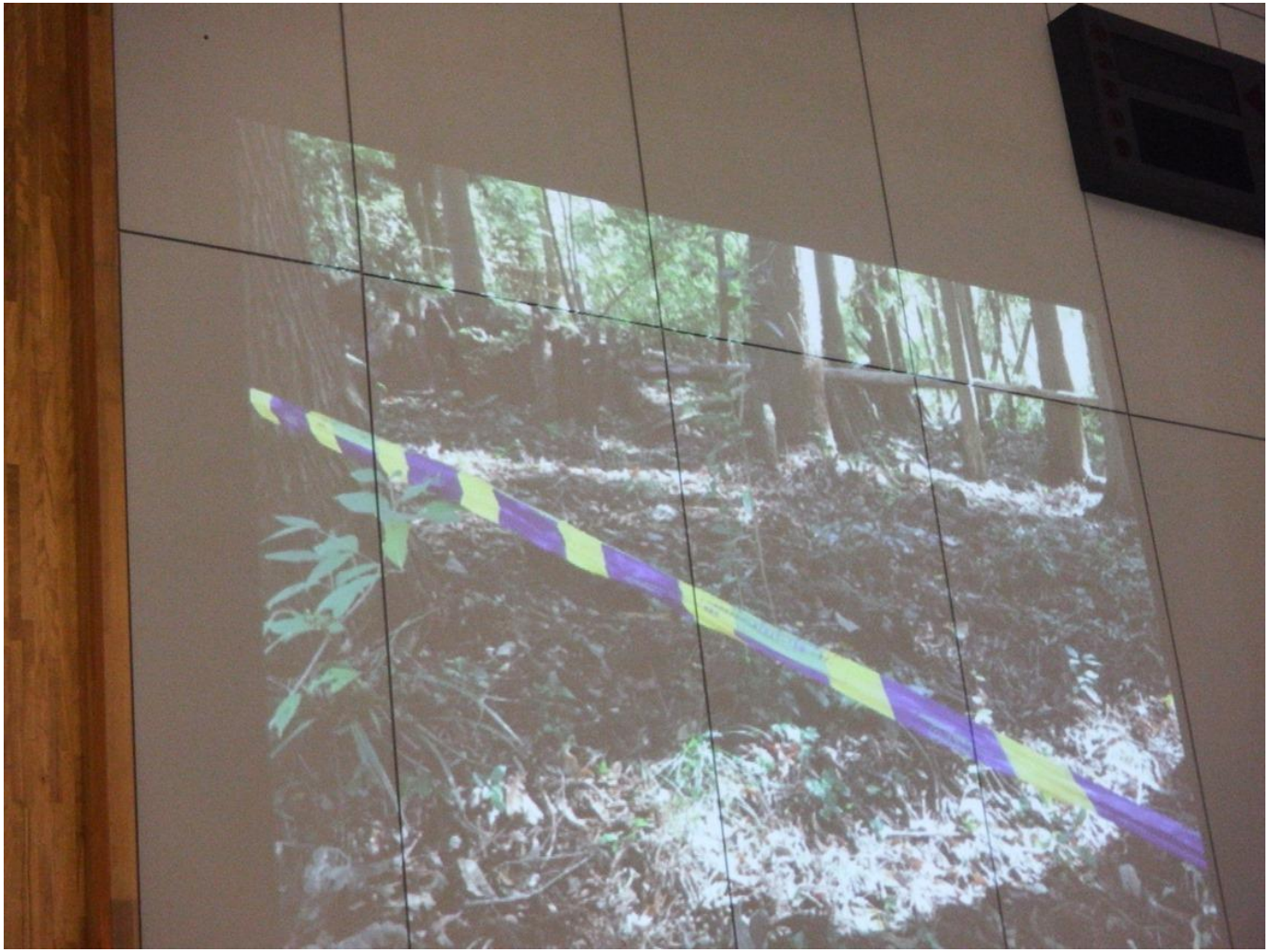
⑥主要道路の横断

一部のクラスにおいて主要道路の横断する箇所があります。車の通行量は少ない（５，６台／時間）ですが注意して下さい。直接道路向いに渡るルートをとらず、一旦側道を走り安全を確認し渡って下さい。係員を配置していますので指示に従って下さい。

・車を止めることはしない
・車が近づいているときは役員が「車が近づいています」と注意喚起する
(注意喚起だけであれば止まる必要は無いが注意して渡る)

⑦その他

○シイタケ床の脇を通るルートがあります。（地図に表記無し）シイタケ床外周はストリーマで囲いますの　で注意して通過して下さい。



⑦続き

○給水所は設置しませんがスペクテータズレーンにて手渡しを認めますので、必要とされる場合はチームで給水の対応して下さい。

給水ゾーンを設けるのでその枠内で行う。
ごみの処理もチームで行う。

○今週より新しい伐採工事が始まり、地図に表記されていません。ただコースの構想上影響のない場所と考えています。当日は通過可能ですが、修正がないことを了承願います。
工事の場所はサンプルマップに示し、公式掲示板にて案内します。

サンプルマップの掲示は1走スタート前まで

○地図回収については指定の場所において地図裏にコース、名前を記入し、指定の箱（県別）に入れて下さい。

コースは地図に貼ってあるので名前のみでOK

事前質問の回答

・スペクテーターズレーンでの情報提供の可否
　→禁止

・ウイニングランの段取り
　→フィニッシュレーンの横に並走レーン(側道)を設ける。
　　選手はフィニッシュレーンを走り、伴走者はその側道レーンを走る。
　　申請・承諾は不要。